

平成24年 相続税の調査結果

Q :平成24年の相続税の調査結果が公表されたようですが、どのような内容だったのですか？

A :次のような内容でした。

【解説】

さきごろ、国税庁から、平成24年度(平成24年7月から平成25年6月)の相続税の調査結果が公表されました。

主な内容は、次のとおりです。

① 実地調査及び申告漏れ件数

実地調査の件数は12,210件(前年は13,787件)で、このうち申告漏れがあった件数は9,959件(前年は11,159件)でした。

② 申告漏れ課税価格

申告漏れ課税価格は3,347億円(前年は3,993億円)で、1件当たりになると2,741万円(前年は2,896万円)となっています。

③ 申告漏れ財産

申告漏れ財産は、預貯金等の1,236億円(前年は1,426億円)が最も多く、ついで土地の560億円(前年は630億円)、有価証券の431億円(前年は631億円)となっています。

④ 追徴税額

追徴税額(加算税を含む)は610億円(前年は757億円)で、実地調査1件当たりは500万円(前年549万円)となっています。

⑤ 重加算税

重加算税の賦課件数は1,115件(前年は1569件)で、賦課割合は11.2%(前年は14.1%)でした。

